



KONICA MINOLTA

News Release

デジタル加飾で印刷物の高付加価値化に貢献する インクジェットスポットUVニスコーター「AccurioShine 3600」発売

2022年8月29日

コニカミノルタジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大須賀 健 以下、コニカミノルタジャパン）は、印刷物にデジタル加飾を施すインクジェットスポットUVニスコーター「AccurioShine（アキュリオ シャイン）3600」を2022年8月31日に発売します。



本機は、UVインクジェット方式によるニス加工機とMGI社製の箔押し機「iFoil One」が一体となったデジタル加飾機です。エンボス（厚盛り）効果のある3Dニス加工からメタリックな表現を実現する箔押しまで、付加価値の高い加飾印刷物をシームレスに対応します。版や型を作成する必要がないため、最低1枚から印刷することが可能です。デジタル加飾機では、アナログ工程で発生する箔押しのための金型作成やシルクスクリーン印刷の製版などにおいて課題となる中間廃材や廃液を大幅に削減でき、環境への影響を最小限に抑えることができます。本機の投入により、冊子、パンフレット、名刺やポスターなど、あらゆる商業印刷における印刷物の付加価値を高め、よりインパクトのある印刷物起点のコミュニケーションや収益性の高いビジネスに貢献してまいります。本機は、中規模の印刷会社をターゲットにしたMGI社製「JETvarnish 3DS」の後継機種です。今回コニカミノルタブランドとなるAccurioShineを冠し、MGI社の革新的なテクノロジーとコニカミノルタ品質の信頼性が統合された、新しいデジタル加飾システムとして、マシンサイズ・価格ともにコンパクトにして発売します。

【「AccurioShine 3600」が提供する価値】

1. デジタルニスとデジタル箔の加飾が付加価値の高い後加工を実現

本機では、UVインクジェット方式を用いて、デジタル印刷機やオフセット印刷機で印刷されたコート紙、マットコート紙から水性コーティングされた基材まで、幅広いメディアに対して、エンボス効果のある3Dニス加工を施します。光沢のあるニス効果で印刷物の高級感と立体感を演出し、視覚と触覚への訴求が販促効果を高めます。さらに、ニス加工された印刷物の上に「iFoil One」で箔押しを施すと、立体的で煌びやかなメタリックカラーによりデザインの魅力が最大限に引き出され、付加価値の高い後加工を実現します。



ニス加工



箔加工

2. デジタル化による多品種・少量生産でビジネスチャンス拡大へ

デジタル加飾機では、試作から本生産まで版や型を必要とせず、デジタル上で手軽にデザインの作成から変更、校正までを素早く行うことができます。アナログ工程では資材費や工数が掛かり、これまで困難であった色や絵柄違い等の複数のデザインを作成することが可能です。生産機としての利用に加え、モックアップサンプルやテストマーケティング用途の多品種・少量生産など、印刷ビジネスに新たな可能性をもたらします。

3. 全工程のデジタル化により環境への負荷を最小限に

デジタル加飾機では、ニス加工から箔押しまでデジタルによりシームレスに加飾を行います。アナログ工程で発生する箔押しのための金型作成やシルクスクリン印刷の製版などにおいて課題となる中間廃材や廃液を大幅に削減でき、環境への影響を最小限に抑えることができます。

コニカミノルタジャパンは、デジタル加飾市場において、大規模印刷会社向けのMGI社製品「JETvarnish 3D Evolution」から、中規模向けの「AccurioShine 3600」、小規模向けの「AccurioShine 101」までラインアップし、幅広い顧客層に向けて付加価値の高い加飾印刷を提供します。また、「EX感性ソリューション」を併用することで、加飾印刷物による消費者の購買行動を予測し、購買活動につながる最適な印刷物のデザインを追求することができます。ハードとソフトの両面で印刷会社と共にクライアントの期待に応え、加飾市場への価値提供を強化していきます。

■EX感性ソリューションとは

「EX感性ソリューション」では、人間の視覚認知過程をもとにした数理モデルを画像解析に実装し、ヒトがどこに注目するかを「見える化」しました。デザインの色、輝度、形状の特徴量をもとに、ヒトの注目し易さをヒートマップの形式で表示します。この機能を利用して、訴求したいポイントを目立たせるデザインの改良を行うことができます。

また、抽出した文字について、注目性を数値で表示することも可能です。これにより、文字や背景の色などを変化させて比較しながら、より文字が目立つ改良を行うことができます。

【コニカミノルタが目指す印刷業界の姿】

近年、消費行動や労働環境の変化、気候変動や限られた資源といった環境問題への関心の高まりに伴い、印刷物やその生産に対する要求も変化しており、受発注者をはじめ印刷に関わる人々全体の変革がより強く求められています。

コニカミノルタは、デジタル印刷こそがその変革の中心において役割を発揮するという信念のもと、これまで提供してきた自動化やスキルレスといった「生産プロセス効率化」と、売上利益向上を支援する「付加価値創造」の両輪をさらに追求していきます。そして、より多用化するニーズに応え、印刷物を企画・発注する人々、印刷物の生産・物流に関わる人々、印刷物を利用する全ての人々に新しい印刷の世界を広げていきます。

【「AccurioShine 3600」の主な仕様】

製品名	AccurioShine 3600
印字方式	インクジェット方式（ドロップオンデマンド）
コーティング厚	21μm～116μm
用紙サイズ	最小：21×29.7cm / 最大：36.4 ×75cm 最大印字幅：35.2cm
用紙坪量	最小：135g/m ² 、印刷／ラミネート前で150μm以上 最大：450g/m ² 、印刷／ラミネート前で450μmを超えないこと
加工速度	2,077枚/時(A3、21μm) 1,260枚/時(A3、51μm) 547枚/時(A3、116μm)
用紙搬送方法	バキュームベルト搬送
最大用紙積載高	28cm（約2,250枚、135g/m ² ）
電源	単相230V 7.5kW(32A) × 2プラグ（オプション除く）
寸法	4.02×1.20×1.80m（LxWxH）
重量	約1,068kg

【 本体標準価格 】

47,200,000円（本体+iFoilOne）（税別）

※各種ユニット、オプション、設置料金は、別料金となります。

関連ページ

・「AccurioShine 3600」:

https://www.konicaminolta.jp/business/products/graphic/decoration_print/accurio-shine-3600/index.html

・「EX感性ソリューション」:

<https://www.konicaminolta.com/jp-ja/expainablekansei/>

・「AccurioShine 101」:

https://www.konicaminolta.jp/business/products/graphic/decoration_print/accurio-shine-101/index.html

・「JETvarnish 3D Evolution」:

https://www.konicaminolta.jp/business/products/graphic/mgi/jet_varnish_3d/index.html

【 お客様のお問い合わせ先 】

コニカミノルタジャパン株式会社 お客様相談室 TEL:0120-805-039

----- 報道関係お問い合わせ先 -----

コニカミノルタジャパン株式会社 コーポレート本部 広報宣伝部

TEL : 03-6311-9460